

かがやけ岩松っ子

学校教育目標 ふるさとを愛し 自ら学び高め合う
心身ともにたくましい岩松っ子の育成

学校便り 第8号
令和元年6月7日発行
小城市立岩松小学校
発行責任者 校長 砂後 典之



頑張りました 褒められました !! 5年生 宿泊学習 パートII

前号では、カッター体験までお伝えしました。今回はその後についてです。

「夕べのつどい」で他の団体と初めて交流しました。今回は

福岡の中学校と神埼市の小学校と一緒にしました。中学校は200名近くの大きな団体で主に学習を目的に来られていました。神埼の小学校は5年生と6年生の二学年が、本校と同様の目的で来られていました。二学年合わせて20名程度の学校でした。

夕べのつどいの後は、お楽しみの夕食です。波戸岬少年自然の家は、県内の少年自然の家の中では最も新しく、食事はバイキング方式になっています。子どもたちは、思い思いに料理を皿に盛っていきます。おかずもご飯も汁物もすべておかわり自由になっています。何回もおかわりをしている子がいるかと思えば、それで本当にお腹が一杯になると心配になるくらい少量しか皿に盛っていない子もいました。すべての食事で必ずサラダが付いていましたが、ほとんど野菜を取っていない子もいました。バランスよく食事を取ることは健康にとって必要なことです。ご家庭でも、栄養バランスや好き嫌いについてもお子さんと話をしてみてください。

夕食後は入浴です。本校の子どもたちの人数でしたら、男女別に大浴場で一度の入浴となります。決められた時間内での入浴ですが、子どもたちは人前で裸になるのを恥ずかしがり、バタバタとした入浴になりました。

夜の活動は、体育館で「キャンドルの集い」です。キャンプファイヤーの室内版と考えていただければと思います。キャンプファイヤーの薪がキャンドル(ろうそく)になっているような感じです。

担当の子どもたちの進行により3部構成で行いました。第1部は、静けさの中で厳かに火を迎えました。子どもの代表が「火の男神」に、私が「火の神」に扮して入場し、私から火の大切さや友だちと協力することの意義を話しました。その後、各班の代表者である「火の守」に分火し、火の守は順番に自分達の班の目標をその火に誓いました。その後、火の神・火の守でキャンドルに次々に火をつけていきました。



上から

- ・バイキング方式の料理をつぎ分ける子どもたち
- ・キャンドルを囲む子どもたち
- ・キャンドルのつどいのゲーム
- ・キャンドルのつどいのフォークダンス(オクラホマミキサー)

第2部は、雰囲気がかがらりと変わり、グループの出し物をしたり、みんなで歌ったり、踊ったり、ゲームをしたりして楽しみました。担任の永渕先生も子どもたちを盛り上げようと一生懸命でした。

第3部は、第1部と同じように厳かな雰囲気の中、火の神である私から子どもたちに静かに語りかけ、徐々にキャンドルを消していき最後の1本になったところで、全員で「ビリーブ」を合唱し、歌い終わりに最後のキャンドルを消してキャンドルのつどいは終わりました。

その後は、班毎に今日の振り返りを行い、22時の消灯時間に向け就寝準備をしました。男女それぞれ2つの宿泊室、合計4つの宿泊室で寝ますが、男子の1部屋は22時前には眠いということで静かになりました。最後まで起きていたのは女子でしたが、23時30分から24時までにはみんな静かに眠ってしまいました。その代わりと言えませんが、翌朝は5時30分ごろには起き始める子どもがたくさんいました。

2日目は、残念ながら朝から小雨が降り始め、活動プログラムの変更を考えながらも何とか回復しないかと祈りつつ「朝のつどい」「朝食」を済ませました。

その後は、寝具の整理や宿泊室の掃除、自分の荷物の整理と忙しい時間が続きます。寝具の整理や宿泊室の掃除は、先生達の確認を受け合格しないと何度でもやり直しになります。宿泊学習の大切な目標の一つです。1回で合格をもらえる班はなく、何度も何度もやり直しをしようやく合格をもらっていました。しかし、この苦労が後の喜びに代わります。それは後ほど。

残念ながら雨は止みませんでしたので、予定していた屋外で行う「ウォークラリー」は取りやめ、屋内で行える「インドアビンゴ」を実施しました。インドアビンゴが早く終了し、雨も止んだので自然の家の敷地内で行う「キッズポイントラリー」も実施しました。

ともに、グループで地図に記載されたポイントを見つけたり、クイズやゲームに挑戦したりして得点を競うものです。グループ内の協力や普段の観察眼などが重要なポイントになります。かなり難しいクイズやゲームもありましたが、子どもたちは楽しんでチャレンジしていました。

入所して3回目となる食堂での昼食は、バイキング方式にも慣れ手際よく料理を皿に盛り付けることができました。相変わらず野菜をほとんど食べない子どもがいましたが。

いよいよ自然の家での最後のプログラムである「退所式」です。この場でも自然の家の所長さんからお褒めの言葉をいただきました。それは、寝具の整理と宿泊室の掃除についてでした。子どもたちが宿泊室を出た後、自然の家の職員さんが各宿泊室を確認されるとのことで、岩松小学校については「寝具の整理も宿泊室の掃除も完璧で素晴らしい」と絶賛いただきました。

子どもたちには、友だちと協力して活動をやり遂げたことや、これだけ褒めてもらったことを自信に、今回の経験をこれからの学習や生活に活かしてほしいと話をしています。

がんばれ 5年生 !!!



上から

- ・キッズポイントラリーでモンキーブリッジに挑戦
- ・キッズポイントラリーで魚釣りゲームに挑戦
- ・最後の食事(昼食)カレーライスおいしかった